

# 健康 コラム

## 医師事務作業補助 (メディカルクラーク)の仕事



秋田厚生医療センター  
メディカルクラーク 久留島 弘美

皆さんは医師事務作業補助(通称:メディカルクラーク)という仕事を存じでしょうか?外来診察室で、医師の隣に座って電子カルテを操作している人を見かけた事があると思いますが、それが私達メディカルクラークです。

秋田厚生医療センターでは平成20年に導入し、当初は2人からのスタートでした。2年間の準備期間を経て、平成22年に医師事務作業補助体制加算の届出を申請、現在は30人を越える大所帯となっています。

良質な医療を提供するという基本理念の下に、医師が本来の業務(外来診察・病棟回診・手術等)に専念できる環境を確保し、効率的な業務運営がなされるように、医師の事務的な作業を支援・補助するという目的で誕生したのが、この医師事務作業補助(メディカルクラーク)という仕事です。私達は医師の指示の下のみで業務を行うことが許されているので、例えば看護業務の補助や受付・窓口業務、診療報酬の請求事務、物品運搬業務などを行うことはできず、業務内容が厳しく制限されています。具体的には、紹介状や院内依頼書・診断書等の文書作成、処方や注射・処置・検査・放射線・予約等

の診療録(カルテ)への代行入力、他にも入院の申込や同意書・説明書の準備、学会・調査・データ集計の資料の準備及び入力など、仕事は多岐にわたります。

医師の事務的業務を代行するためには、ある程度の知識や経験が必要であり、医学的知識等を得るために6ヶ月間の研修期間と32時間以上の基礎研修が義務づけられています。医師法や薬事法等の関連法規の概要、個人情報保護等に関する事項、医療内容や用語に関する事項、診療録(カルテ)の記載・管理や代行入力に関する事項、オーダーリングシステムに関する事項などを学んでいきます。

私自身は当院メディカルクラークの創設メンバーですが、開始当初は何をどうしたらよいか分からず、全く手探りの状態でした。それまでは整形外科の医療事務として働いていた私、ある日突然白衣を渡され消化器内科のメディカルクラークへと異動を告げられた時は頭の中が真っ白になりました。外部での研修を経て、当院における医師事務作業補助の仕事の基盤を作るべく、当時担当だった消化器内科の医師と相談しながら仕事を分担し、出来る事を少しずつ広げていきました。消化器内科に関

する専門的な知識を日々学び、どうすれば医師が診療に専念し効率よく仕事が出来るかを常に考えました。(当時消化器内科に関して素人だった私に忍耐強くいろいろな事を教えていただき、医師事務作業補助の基盤作りに協力してくださった渡部先生には本当に感謝しています。)

現在は全外来に1人から最大5人のメディカルクラークが配置されています。

医師の数や各科の状況に応じて、私達に出来る事や求められる事など、仕事のニーズも変わってきます。私達は広い視野で専門分野を学び、先生達が本来の医師の業務に専念してスムーズな診療が出来るように、看護師や技師・事務など他部署との連携を図りながら、環境を整えつつサポートしていければと思っています。

